平成24年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年２月９日

上場会社名	株式会社ハピネット		上場取引所　東
コード番号	7552		ＵＲＬ　http://www.happinet.co.jp/
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）苗手　一彦	
問合せ先責任者	（役職名）取締役最高財務責任者	（氏名）浅津　英男	ＴＥＬ　03-3847-0410
四半期報告書提出予定日	平成24年２月10日		配当支払開始予定日　－

四半期決算補足説明資料作成の有無：　無

四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成24年３月期第３四半期の連結業績（平成23年４月１日～平成23年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年３月期第３四半期	157,618	5.8	4,832	67.4	4,977	65.5	2,358	57.2
23年３月期第３四半期	148,993	△1.8	2,886	29.7	3,007	25.7	1,499	10.2

（注）　包括利益　24年３月期第３四半期　2,226百万円　(67.1％)　23年３月期第３四半期　1,332百万円　(－％)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年３月期第３四半期	105.26	－
23年３月期第３四半期	66.73	－

平成23年12月１日付で普通株式１株につき２株の株式分割を行っております。これにより、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
24年３月期第３四半期	72,747	21,617	29.7
23年３月期	48,507	19,802	40.8

（参考）自己資本　24年３月期第３四半期　21,602百万円　23年３月期　19,796百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年３月期	－	15.00	－	15.00	30.00
24年３月期	－	22.50	－		
24年３月期（予想）				11.25	33.75

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

平成23年12月１日付で普通株式１株につき２株の株式分割を行っております。これにより、平成24年３月期（予想）の期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。詳しくは「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

３．平成24年３月期の連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	198,000	3.7	4,800	68.1	4,900	62.6	2,300	67.1	102.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

連結業績予想の修正については、本日（平成24年２月９日）開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年３月期３Ｑ	24,050,000株	23年３月期	24,050,000株
② 期末自己株式数	24年３月期３Ｑ	1,647,870株	23年３月期	1,647,410株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年３月期３Ｑ	22,402,448株	23年３月期３Ｑ	22,472,096株

平成23年12月１日付で普通株式１株につき２株の株式分割を行っております。これにより、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（株式分割について）

平成23年12月１日付で、平成23年11月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有普通株式１株につき、２株の割合をもって株式分割を行っております。当該株式分割の影響を考慮し、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の配当の状況につきましては、以下のとおりになります。

基準日：平成23年３月期	第２四半期末	7円50銭	期末	7円50銭	年間	15円00銭
基準日：平成24年３月期	第２四半期末	11円25銭	期末（予想）	11円25銭	年間（予想）	22円50銭

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による停滞から緩やかな回復基調にあるものの、欧州財政危機を背景とした海外経済の減速や円高の長期化により、日本経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの属するエンタテインメント業界におきましては、少子化や消費者ニーズの多様化、ブロードバンドインフラの普及によるパッケージ市場の低迷等、依然厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループは、減損処理等による特別損失が発生したものの、映像音楽事業を中心とした事業構造改革の推進による成果に加え、当社グループの最大の商戦期であります年末商戦におきましても、玩具事業及びアミューズメント事業において、主力の男児キャラクター商材を中心にヒット商材に恵まれ、好調に推移いたしました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は1,576億１千８百万円（前年同期比5.8％増）、営業利益は48億３千２百万円（同67.4％増）、経常利益は49億７千７百万円（同65.5％増）、四半期純利益は23億５千８百万円（同57.2％増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、従来「玩具事業」「映像音楽事業」「ビデオゲーム事業」「アミューズメント事業」の４つを報告セグメントとしており、トレーディングカード、雑貨類の販売に係る事業は「その他」として区分しておりました。

しかし、男女児一般玩具とトレーディングカード、雑貨類の販売における市場、販売方法、顧客の種類等の類似性を考慮した結果、第１四半期連結会計期間より、トレーディングカード、雑貨類の販売に係る事業セグメントを玩具事業へ集約することといたしました。

前年増減比につきましては、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報を、変更後の報告セグメントの事業区分に従って組み替えて表示しております。

①玩具事業

中核事業であります当事業は、バンダイの「仮面ライダーフォーゼ」、「海賊戦隊ゴーカイジャー」等の男児キャラクター商材が好調に推移し、売上高、セグメント利益とも好調に推移いたしました。

この結果、売上高は617億３千９百万円（前年同期比14.8％増）、セグメント利益は29億９千１百万円（同36.8％増）となりました。

②映像音楽事業

映像音楽市場においては、インターネットでのコンテンツ配信等が進んでおり、パッケージ市場が低迷する中、当社グループにおきましても苦戦を強いられているものの、利益面につきましては事業構造改革の推進により、好調に推移いたしました。

この結果、売上高は430億８千９百万円（前年同期比4.8％減）、セグメント利益は３億５千万円（前年同期は３億４千２百万円のセグメント損失）となりました。

③ビデオゲーム事業

ビデオゲーム事業は、年末商戦におきましては、新型ゲーム機や一部ヒット作が発売されたものの、ソーシャルゲームの普及の影響等により、家庭用ゲーム機市場は苦戦を強いられており、当社グループにおきましても低調に推移いたしました。

この結果、売上高は356億５千２百万円（前年同期比3.9％減）、セグメント利益は９億４千９百万円（同5.0％減）となりました。

④アミューズメント事業

アミューズメント事業につきましては、事業構造改革の成果に加え、玩具自動販売機商材のカプセル玩具で、「仮面ライダーフォーゼ」、「ワンピース」、「海賊戦隊ゴーカイジャー」等男児キャラクター商材やカードゲーム機が好調に推移いたしました。

この結果、売上高は171億３千５百万円（前年同期比33.4％増）、セグメント利益は15億８千４百万円（同61.5％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は665億８千８百万円となり、前連結会計年度末に比べ255億４千９百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加８億６千９百万円、受取手形及び売掛金の増加241億３千１百万円によるものであります。固定資産は61億５千８百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億９百万円減少いたしました。これは主に無形固定資産の減少12億６千３百万円によるものであります。この結果、総資産は、727億４千７百万円となり、前連結会計年度末に比べ242億３千９百万円増加いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は481億６千９百万円となり、前連結会計年度末に比べ223億３千２百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加213億８千８百万円、未払法人税等の増加４億８千３百万円によるものであります。固定負債は、29億６千万円となり、前連結会計年度末に比べ９千２百万円増加いたしました。これは主に退職給付引当金の増加１億４百万円によるものであります。この結果、負債合計は、511億２千９百万円となり、前連結会計年度末に比べ224億２千５百万円増加いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は216億１千７百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億１千４百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加19億３千８百万円、その他有価証券評価差額金の減少１億３千１百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は29.7%（前連結会計年度末は40.8%）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、映像音楽事業を中心とした事業構造改革の推進による成果に加え、当社グループの最大の商戦期であります年末商戦におきましても、玩具事業及びアミューズメント事業において、ヒット商材に恵まれ、売上高、営業利益、経常利益とも好調に推移しております。

また、当期純利益につきましても、減損処理等による特別損失が発生したものの、事業の好調により、前回予想（平成23年11月10日発表）を上回る見通しであります。

詳細につきましては、本日（平成24年２月９日）開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、平成23年４月１日付で、当社（株式会社ハピネット）の映像音楽販売部門を株式会社ウイントに移管し、株式会社ウイントの社名を株式会社ハピネット・ピーエムに変更いたしました。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（１株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間より、「１株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第２号　平成22年６月30日）、「１株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第４号　平成22年６月30日公表分）及び「１株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第９号　平成22年６月30日）を適用しております。この適用により、当第３四半期連結会計期間に行った株式分割は、前連結会計年度の期首に行われたと仮定して１株当たり四半期純利益を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第３四半期連結累計期間の１株当たり四半期純利益は、以下のとおりであります。

１株当たり四半期純利益　　133円46銭

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,220	9,090
受取手形及び売掛金	23,206	47,338
商品	6,418	7,355
貯蔵品	17	23
その他	3,252	2,882
貸倒引当金	△76	△102
流動資産合計	41,039	66,588
固定資産		
有形固定資産	1,555	1,418
無形固定資産		
のれん	876	623
その他	2,255	1,245
無形固定資産合計	3,132	1,869
投資その他の資産		
投資有価証券	1,548	1,312
その他	1,408	1,726
貸倒引当金	△175	△167
投資その他の資産合計	2,780	2,871
固定資産合計	7,468	6,158
資産合計	48,507	72,747
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,204	41,592
未払法人税等	1,038	1,522
賞与引当金	314	111
ポイント引当金	5	6
事業構造改善引当金	11	－
返品調整引当金	21	23
その他	4,242	4,912
流動負債合計	25,837	48,169
固定負債		
退職給付引当金	1,630	1,734
資産除去債務	45	46
負ののれん	51	26
その他	1,139	1,151
固定負債合計	2,867	2,960
負債合計	28,704	51,129

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751	2,751
資本剰余金	2,775	2,775
利益剰余金	15,175	17,113
自己株式	△1,091	△1,091
株主資本合計	19,611	21,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185	53
繰延ヘッジ損益	0	△0
その他の包括利益累計額合計	185	53
新株予約権	5	14
少数株主持分	0	0
純資産合計	19,802	21,617
負債純資産合計	48,507	72,747

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	148,993	157,618
売上原価	131,790	137,891
売上総利益	17,202	19,727
販売費及び一般管理費	14,315	14,894
営業利益	2,886	4,832
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	35	25
負ののれん償却額	28	25
その他	83	100
営業外収益合計	149	152
営業外費用		
支払利息	16	3
為替差損	7	0
リース解約損	－	1
その他	5	2
営業外費用合計	29	8
経常利益	3,007	4,977
特別利益		
固定資産売却益	3	2
投資有価証券売却益	28	－
会員権売却益	－	1
特別利益合計	31	3
特別損失		
固定資産売却損	0	7
固定資産除却損	14	1
投資有価証券売却損	－	1
投資有価証券評価損	17	1
会員権評価損	－	0
会員権売却損	－	1
減損損失	－	643
災害による損失	－	29
子会社整理損	22	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27	－
特別損失合計	82	687
税金等調整前四半期純利益	2,955	4,293
法人税、住民税及び事業税	1,010	1,969
法人税等調整額	445	△34
法人税等合計	1,456	1,934
少数株主損益調整前四半期純利益	1,499	2,358
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△0	0
四半期純利益	1,499	2,358

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,499	2,358
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△165	△131
繰延ヘッジ損益	△0	△0
その他の包括利益合計	△166	△131
四半期包括利益	1,332	2,226
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,333	2,226
少数株主に係る四半期包括利益	△0	0

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等
（セグメント情報）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム事業	アミューズメント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	53,793	45,252	37,099	12,847	148,993	－	148,993
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	53,793	45,252	37,099	12,847	148,993	－	148,993
セグメント利益又は損失（△）	2,186	△342	999	981	3,825	△938	2,886

（注）１．セグメント利益の調整額△938百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△938百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項
該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム事業	アミューズメント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	61,739	43,089	35,652	17,135	157,618	－	157,618
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	61,739	43,089	35,652	17,135	157,618	－	157,618
セグメント利益	2,991	350	949	1,584	5,876	△1,044	4,832

（注）１．セグメント利益の調整額△1,044百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,044百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項
従来、「玩具事業」「映像音楽事業」「ビデオゲーム事業」「アミューズメント事業」の４つを報告セグメントとしており、トレーディングカード、雑貨類の販売に係る事業は、「その他」として区分しておりました。しかし、男女児一般玩具とトレーディングカード・雑貨類の販売における市場、販売方法、顧客の種類等の類似性を考慮した結果、第１四半期連結会計期間より、トレーディングカード・雑貨類の販売に係る事業セグメントを玩具事業へ集約することといたしました。
なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
「玩具事業」「映像音楽事業」「ビデオゲーム事業」及び「アミューズメント事業」セグメントにおいて、無形固定資産のソフトウェアについて、６億４千３百万円の減損損失を計上しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）重要な後発事象
該当事項はありません。